

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO.79 平成27年2月号

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

目次

◆URC資料室ニュース

「明日と建築と都市展 1960-2000 回顧と展望」
を共催・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

◆「福博:花まち研究会」活動報告・・・・・・・・・・1

◆URCニュース

①平成26年度 第5回都市セミナー開催報告・・・・・・2

②平成26年度 第6回都市セミナー開催報告・・・・・・2

③平成26年度 市民研究員研究成果発表会開催予告・・3

◆FDCニュース

①「FUKUOKA 地域戦略フォーラム2015」開催報告・・3

②イノベーションスタジオ PROJCT#2 がスタート!・・3

◆マスコミでみるURCの今・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

◆資料速報 平成27年1月受入分・・・・・・・・・・別添

◆URC資料室ニュース

「明日と建築と都市展 1960-2000 回顧と展望」を共催します！

3月14日土曜日から23日月曜日まで、福岡市役所1階ロビーにおいて「明日と建築と都市展-1960-2000 回顧と展望」が開催されるのに際し、当研究所が共催し、当資料室が資料提供で協力します。

以下、展示の趣旨を展示資料の前言からご紹介します。

このたび、20世紀後半の福岡において企画された建築・都市計画、構想等をご覧頂き、福岡における明日の建築と都市を考える機会をもちたいと思い、民間、行政、学術等の様々な分野で建築、都市計画に関わる皆様の賛同を得て企画いたしました。

福岡市をはじめとする自治体の都市計画、建築行政に関する委員長、会長職を務め、マスタープランの策定、住宅地開発、生活環境の整備など、都市の発展に貢献し、福岡市の自治体シンクタンクである財団法人福岡都市科学研究所（現：公益財団法人福岡アジア都市研究所）初代理事長であった光吉健次氏（九州大学名誉教授、1925-2000）に焦点を当て、市の関与した都市計画や建築を主とした展示です。

皆様の明日と建築と都市を考える機会になれば幸いです。

◆「福博:花まち研究会」活動報告「花壇苗の生産者と地域の花づくり団体を訪ねて」

福岡市内の花壇苗の生産状況と地域の環境緑化を目的に花づくり活動をされているボランティア団体の活動状況を視察するため、昨年12月に産地視察ツアーを実施しました。

早良区田隈地区の花壇苗生産者のハウスでは色とりどりの花壇用苗が栽培されていました。田隈地区は、現在の四箇田団地が建設される頃は沢山の田んぼや畑があり市内でも有数の農業が盛んな地区でしたが、現在はマンションや戸建て住宅が立ち並び昔の面影はありません。そんな中で、農地を守りながら市内の公園や街路花壇の苗を作り続けておられる姿に感銘を受けました。読者の皆さんは、天神や博多駅周辺の街路花壇が一夜のうちに植え変わっていることに気付かれたことがあるでしょうか。車の通りが少なくなった夜間や早朝

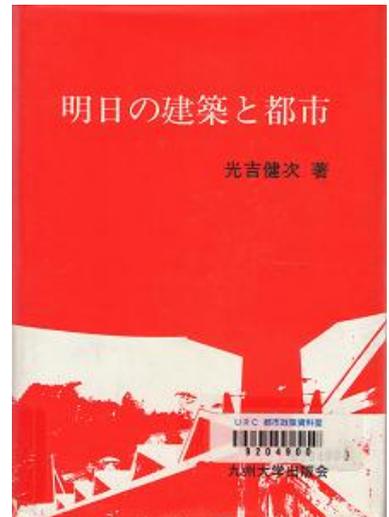
（「明日と建築と都市展」実行委員会）

光吉先生は、九州大学を定年でご退官後、すぐに当研究所の前身である財団法人福岡都市科学研究所に初代理事長として来られ、当研究所の基礎を築かれました。

多くのご観覧をお待ちしています。

なお、3月24日火曜日からは場所を県立美術館に変えて、光吉先生の書かれた建築図面を中心に展示します。こちらは3月29日日曜日までです。合わせてご観覧ください。

写真出展：光吉健次初代理事長の著書 展示のタイトルにもなる。



に生産者自身で植え替え作業を行っているようです。

ボランティア団体の一つは、小田部中央公園内の花壇の植栽と維持管理を行ってある「小田部花きれい隊」代表の松永さんに公園内の花壇の維持管理状況を説明していただきました。水やりに必要な水道が花壇から遠く離れており、夏の水やりに苦労すること、花壇の構造が花を育てるには、適していないことなどを聞くことができました。このことは、研究会の活動として、このような意見を担当課に伝える橋渡しを行い、有意義な視察となりました。次に、市道沿いの街路花壇の植栽と維持管理を行っている「しろうお会」の松田代表にお話を伺いました。この花壇は面積も広く、沢山の苗が必要で苗や肥料の購入費用の負担が大変だそうですが、会員の皆

さんの協力でデザインや花の種類を厳選することで地域の皆さんにきれいな花壇を楽しんでいただいているとのことでした。

「福博:花まち研究会」は、福岡市を訪れた人たちがもう一度訪れたいくなるような「花がきれいな街・福岡」を目標に大学、

NPO、まちづくり団体、行政等と一体となって毎月一回URCの会議室で研究会やセミナーを開催しています。興味のある方は、URCや資料室に気軽に声をかけてください。

(福博:花まち研究会(平成22年度短期研究員)久保山安利氏)



花壇苗生産者のハウス



ボランティア団体の花壇

写真出展：福博:花まち研究会撮影

◆URCニュース

①平成26年度 第5回都市セミナーを開催しました。



ビッグデータ&オープンデータ研究会 in 九州 [BODIK] セミナーおよび本年度5回目のURC都市セミナー『オープンデータがもたらす地域の成長』を、複合型コンベンション「スマートモビリティアジア2015」のプログラムの一つとして1月8日(木)に開催し、遠くは仙台からお越しの方をはじめ、120名にご参加いただきました。

前半は、地域情報化の第一人者である(株)公共イノベーション代表取締役の川島宏一氏が、基調講演「オープンデータによる地域ビジネス創出の方向性」と題し、オープンデータ化がますます広がる状況下で、地域のビジネス創出の目指すべき方向性などを、様々な先進事例を交えながらお話しいただきました。

後半のパネルディスカッション「オープンデータと地域の成長」では、(株)ウェルモ代表取締役鹿野佑介氏、福岡市総務企画局理事[CIO 補佐官]竹内聡氏、BODIK代表村上和彰氏に加わっていただき、産学官民それぞれの立場での取り組みや今後の展望、福岡のポテンシャルなどを熱く語っていただきました。

今回の発表資料等の概要は当研究所ホームページで公開中ですので、ぜひご覧いただき、オープンデータ活用の理解の一助にさせていただきたいと思っております。

*写真出展：URC撮影 (主任研究員 白浜康二)

②平成26年度 第6回都市セミナー(アジア情勢)を開催しました。

平成27年1月19日(月)アクロス福岡にて『～若手研究者が語る～アジアにおける福岡・九州の魅力と課題』と題して平成26年度第6回目の「都市セミナー(アジア情勢)」を開催しました。

今回のセミナーでは、過去福岡アジア都市研究所の「若手研究者 研究活動奨励事業」の対象者として





ご活躍なされた5名の研究者(柳 基憲さん・ポンサピ タックサンティ ピヤさん・福島 綾子さん・西谷 郁さん・中村 由美さん)をお迎えし、それぞれの当時のテーマや現在の活動状況についての紹介や、アジアの

視点から九州そして福岡の魅力と課題についてディスカッ

ションを行いました。

まず、各研究者による当時の研究テーマに関する説明や現況について講演が行われ、続いて、九州大学 アジア太平洋未来研究センター長 松原孝俊教授のコーディネートによるパネルディスカッションを行いました。それぞれの研究に基づいた九州・福岡への提言が繰り広げられ、パネルディスカッション後には参加者からの質疑も寄せられ、充実した内容のセミナーとなりました。

*写真出展：URC撮影 (主任研究員 夏井圭介)

③平成 26 年度 市民研究員研究成果発表会を開催します。

平成 26 年度市民研究員研究成果発表会が来る 3 月 1 日(日曜)にアクロス福岡 2 階 セミナー室 2 にて開催されます。今年度の研究テーマは『スポーツを生かしたまちづくり』で、3 名の市民研究員が、昨年 7 月から約 8 か月間にわたり、それぞれに感心のある個別テーマについて研究しており、様々な角度から提言を発表いたします。個別研究テーマは、『支えるスポーツと学生について(古川富美子氏)』『スポーツをする人をサポート～食の観点から～(森満美枝氏)』『ボウリング場を活用したまちづくり(吉田勝氏)』です。当研究所ホームページ(<http://www.urb.or.jp>)からも申込み可能ですので、皆さま奮ってご参加のほど宜しくお願い申し上げます。



*写真出展：URC撮影(中間報告会の様子)(柳基憲 研究員)

◆FDCニュース

①産学官民連携の在り方探る「FUKUOKA 地域戦略フォーラム 2015」を開催しました。



福岡地域戦略推進協議会は、1月27日「FUKUOKA 地域戦略フォーラム 2015 九州を牽引する福岡都市圏の成長に向けて、産学官民連携のプラットフォームの可能性を探る」を開催した。

日本政策投資銀行地域企画部部長の川住昌光氏が「地域創生・都市の成長戦略に向けて～地域連携プラットフ

ォーム形成による連携と協創～」と題して基調講演を行った。

講演の中で川住氏は、都市の成長のためには、地域の弱みと強みを認識した上で①地域の実態の見える化②関係者間の共通認識③「ないもの」ねだりではなく「あるもの」を最大限生かす施策、が必要であり、そのためには課題解決に向けた地域の産学官民が連携するプラットフォームの形成が有効だ、と強調した。

また、パネルディスカッションでは、九州経済連合会専務理事中川正裕氏、九州大学共進化社会システム創成拠点長是久洋一氏、福岡観光コンベンションビューロー専務理事藤本道雄氏、福岡県企画・地域振興部総合政策課長樋口直樹氏、福岡市特区担当部長袴着賢治氏がそれぞれの取り組み事例の紹介と産学官民連携のプラットフォームの果たす役割や課題について議論を深めた。

FDCからは後藤太一事務局長が「FDCの成果と展望」をプレゼンテーションした。

*写真出展：FDC撮影
(FDC事務局 総務ディレクター 中満昭)

②イノベーションスタジオ PROJCT#2 がスタートしました！



福岡地域戦略推進協議会が運営するイノベーションスタジオ福岡の第二弾のPROJECT #2 が2015年1月10日から3日間のワークショップでスタートしました。今年度の年間テーマは「健康社会の創造」ですが、今回スタートしたPROJECT #2 では、「ライフコースのイノベーション - つな

がり・仕事・成長の未来」と題して、元気で生き生きとした生活の全体設計を目指し、政府も最重要課題として掲げている「地方創生」のモデルとなるような福岡ならではの新しいイノベーションアイデアを事業化につなげることをめざしています。初日は、福岡市の袴着特区部長も参加し、イノベーションスタジオ福岡がグローバル創業・雇用創出特区として取り組むさまざまなチャレンジのひとつとして位置付けられていることを語り、参加者にエールを送りました。

今回の3日間で生まれた課題のテーマは10個。エイジレスな高齢者、キャリアチェンジ、途中で障害を負ったときの転換、世帯経営、人生のチームづくり、レジリエントなこどももの育成、死のデザインといったテーマについて、これから2ヶ月かけて、10のチームがフィールドリサーチを行い、3月に再度集合して、リサーチから得た深い気づきをもとにビジネスアイデアにつなげます。

◆マスコミで見る「URC」の今！—最近1か月の情報を中心に—

◎新聞

(2015/1/26 西日本新聞 朝刊 25p)

デスク日記聞き書きシリーズ 大学の知恵を地域のものに 福岡大名誉教授 阿部真也さん(☆印=以下同シリーズ)の終了記事

長年当研究所の評議員はじめ、研究に関わられた阿部真也先生の聞き書き連載終了記事

(2015/1/23 日本経済新聞 近畿 朝刊 10p)

関西の羅針盤 第7章 アジアと生きる④文化が築くネットワーク「福岡賞」連綿と 唐寅主任研究員の福岡市のアジア賞に対するコメントが紹介される。

(2015/1/22 河北新報 朝刊)

十和田市現代美術館特別展「繋ぐ術」田中忠三郎が伝える精神<館長 藤浩志>

市民研究員 OB 藤浩志さんが寄稿

(2015/1/21 秋田魁新報 朝刊 21p)

「乗り越える力」テーマ 新川静香さん特別講義 2月4日、秋田文化会館

市民研究員 OB 藤浩志さんが秋田公立美術大学教授として荒川静香さんと対談する特別講義予告

(2015/1/18 西日本新聞 朝刊 26p)

「FUKUOKA 地域戦略フォーラム」27日(火)アクロス福岡で—福岡都市圏の成長に向け、産学官民連携プラットフォームの可能性を探る FDC の地域戦略フォーラム開催予告(*印=以下関連記事)

(2015/1/15 日本経済新聞 朝刊 35p)

九州・山口 大学人セミナー「情報技術を活用」「地域貢献が前提」安浦寛人理事長が講演

(2015/1/14 日本農業新聞 1p)

牧場作業員、薬剤師・・・逆指名で移住募集 職種や住環境まとめて提供/島根県が事業

小川全夫特別研究員が事業に対してコメント

(2015/1/11 西日本新聞 朝刊 22p)

イノベーションスタジオ福岡は、大手企業からの参加者と市民参加者が一体となって取り組むのも特徴です。今回の参加企業は、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、花王(株)、アサヒグループホールディングス(株)、西日本鉄道(株)で、また一般の公募による参加者は応募者82名の中から選考された41名の方々、うち16名が女性です。今回も17歳から56歳までと幅広く、バックグラウンドもさまざまな方々が参加されています。



PROJECT#2について詳しくお知りになりたい方はこちらへ <https://lolipop-78253d132bdb580a.ssl-lolipop.jp/project/theme2014-2/entry.php?m=reform>

*写真出展:イノベーションスタジオ (研究主査 安川浩平)

新ビジネス創出へ 企画第2弾始まる 創業特区指定の福岡市

FDCが主催するイノベーションスタジオ福岡の第2弾企画の開始が紹介される

(2015/1/10 西日本新聞 朝刊 26p)

27日に地域戦略フォーラム *

(2014/12/27 西日本新聞 朝刊 7p)

☆27 商業から「暮らし」へ

福岡都市科学研究所の市民アンケートが紹介される。

(2014/12/27 西日本新聞 朝刊 23p)

今も生きる藩祖の教え 創る 拓く 官兵衛のまち 如水の言の葉 4氏に聞く

市民研究員OG井上光枝さんの言葉が紹介される。

(2014/12/25 西日本新聞 朝刊 8p)

☆25 都市機能の図を作成

光吉健次初代理事長が「商業近代化計画」策定に取り組まれたことが紹介される。

(2014/12/25 西日本新聞 朝刊 11p)

フォーラム「～若手研究者が語る～アジアにおける福岡・九州の魅力と課題」

第6回都市セミナー アジア情勢報告会の開催予告

◎雑誌

(2015/1 月刊同友 2015年1月号 10p)

自社商品・サービス紹介①社会問題解決型 不動産再生事業<ビンテージビル創育プロジェクト

市民研究員OB吉原勝己さんの会社が紹介される。

◎テレビ

(2014/12/30 TVQ 23:00～ホリエモンの白熱!九州ベンチャー教室)

「Fukuoka Growth 2014.10「データでみる福岡市の上昇気流」の中の開業率データが研究所名、FukuokaGrowth 出典とともに紹介される。